



奈良県知事

荒井正吾

奈良県は、経済が弱いと言われてきました。実際、県内総生産(名目)は、全国38位(H27)、

県民一人当たり小売業商品販売額は全国47位(H27)と数字上も低位です。

反面、自然環境に恵まれた奈良県は住みやすく、生活レベルは高いと思います。経済低位・生活上位の地域での課題は、次世代に『良い働く場』をなかなか提供できないことです。「『良い教育』を奈良県で享受した若者に、『良い働く場』を提供したい」と強く思って取り組んできました。

奈良県内でも、ものづくりや商いにチャレンジされる起業家が増えてきました。とても頼もしく思っています。奈良でスタートアップされ、先は全国展開になれば嬉しいことです。チャレンジできる分野は、ものづくり・商いの他、農業、林業、サービス業、観光業など多岐にわたります。

奈良県内でひたむきに挑戦される若者を、奈良県は全力で応援したいと考えています。

毎月11日は人権を確かめあう日

人権コーナー



ひかりちゃん てんいち先生

「だいじょうぶ だいじょうぶ」

いとうひろしさんの『だいじょうぶ だいじょうぶ』という絵本をご存じでしょうか。

幼い主人公の僕が、困ったことや怖いことに会ったとき、決まっておじいちゃんは僕の手を握り「だいじょうぶ だいじょうぶ」と声をかけました。そのおまじないに救われて大きくなった僕が、今度は病室で横になるおじいちゃんに「だいじょうぶ だいじょうぶ」と手を握りながら声をかけるというお話です。

昨今、子どもたちの周りには、貧困や虐待、SNSを利用した「いじめ」などの問題があります。その結果、自分自身の存在や個性を尊重すること、将来の希望や夢を持つことができず、子どもたちが孤立しやすい社会になっているのではないのでしょうか。今こそ子どもたちには、この絵本のおじいちゃんのように寄り添ってくれる

人が必要だと思います。あるいは、子どもばかりでなく、大人にとっても、誰かに言ってほしい一言なのかもしれません。

おじいちゃんの「だいじょうぶ だいじょうぶ」の言葉が主人公の心に響き、人に寄り添うことができたように、お互いに不安や思いを受け止めて「だいじょうぶ だいじょうぶ」と一緒に悩み、支え合える社会であってほしいものです。

支え合う心



県立高等養護学校 3年
おかもと みさき
岡本 美咲さん

今月のポスター



桜井市立桜井中学校 1年
うらべ ゆい
卜部 由さん

※学校名・学年・氏名は発表時のものです。

クイズ&プレゼント

正解者の中から抽選で

大淀町
大阿太高原の梨
を20名にプレゼント!
(P25で紹介)

締め切りは8月31日(消印有効)



○にあてはまる文字を教えてください。

Q ものづくりや商いの新たな可能性に挑戦し続ける県内企業を支援する県の機関は?

A ○○振興総合センター ヒントは2ページ

6月号の答えは「なら」でした。応募総数440件。

ハガキにクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。

① www.pref.nara.jp/30222.htmからも8/1以降応募できます。
※個人情報、プレゼントの発送以外には使用いたしません。